学校番号	327

令和８年度　芸術科（国際文化科）

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３ 年次
使用教科書	「書Ⅲ」　（光村図書）						
副教材等	「硬筆レッスン帳」　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅱで学んだ漢字、仮名、漢字仮名交じりの書をさらに発展させます。
書道の創造的な諸活動を通して芸術としての書を、自分の表現として制作し、自分の気持ちや他人の気持ちを話し合い、表現することの意味を考えます。
作品を鑑賞することで、幅広い感性、鑑賞力を身に付けます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方.考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化と深く関わる資質.能力を次の通り育成することを目指す。

【知識及び技能】
多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性などについて理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けている。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて総合的に深く構想し、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通じて心豊かな生活や社会を創造する態度を養っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	・楷書・行書・草書・隷書及び篆書の古典臨書を通じて、表現形式に応じた全体の構成と、漢字の書を構成する様々な要素を理解する。 ・漢字の書の書体や書風に即した用筆・運筆・字形全体の構成を工夫しながら、表現する(創作)。	a:漢字の書を構成する様々な要素や、各書体の古典の特徴と用筆・運筆との関わりについて理解している。(知) a:各書体の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。(技) b:各書体の古典の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 b:各書体の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えている。(鑑) c:主体的に漢字の書の創造的な表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返りプリント 観察
2学期 3学期	漢字仮名交じりの書 (卒業制作)	・目的や用途、表現形式に応じた全体の構成と漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素を理解する。 ・感興や意図に応じた、漢字(楷書・行書・隷書・草書)と仮名(平仮名・片仮名)の調和等による全体の構成を工夫しながら表現する(創作)。	a:漢字仮名交じりの書を構成する様々な要素や、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解を深めている。(知) a:目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和等による全体の構成の技能を身に付けている。(技) b:目的や用途、表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現について構想し工夫している。 c:主体的に漢字仮名交じりの書の創造的な鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(鑑)	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度